

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

京成電鉄株式会社（証券コード:9009）

【据置】

長期発行体格付	A+
格付の見通し	安定的
債券格付	A+

■格付事由

- 東京都および千葉県を主たる事業エリアとする民鉄大手。通勤通学路線とともに成田空港への旅客輸送も担っている。沿線を中心に流通業、不動産業、レジャー・サービス業、建設業など多様な事業を展開している。22年9月1日付で新京成電鉄を完全子会社化した。
- 行動制限の撤廃や水際対策の緩和が進む中、成田空港輸送を含む運輸業の需要は回復傾向にある。新規賃貸物件の取得によって、不動産業の強化も進んでいる。エネルギーコストの動向に留意する必要があるものの、インバウンドの段階的回復などによって、中期的にも営業利益の改善が続くと見られる。財務構成は良好である。今後も積極的な戦略投資が計画されているが、引き続き財務健全性を意識した財務運営が予想される。以上より格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- 23/3期営業利益計画は119億円（22/3期は52億円の営業損失）と公表されている。動力費の上昇などがマイナス要因であるが、鉄道輸送の回復や新規賃貸物件の取得などが収益力の改善に寄与すると見られる。中期経営計画（23/3期～25/3期）における最終年度の営業利益目標は過去最高益となる376億円である。重点施策として保有資産のリニューアル、北総線沿線を含む再開発の推進、新京成との協業による沿線活性化などが掲げられており、取り組みの進捗状況を確認していく。
- 23/3期第3四半期末自己資本比率は41.0%（22/3期末41.1%）と、同業他社比較で見て良好な財務指標水準が維持されている。中期経営計画では鉄道の車庫機能拡充、車両新造、新規不動産賃貸物件の取得などが計画されている。一方、25/3期有利子負債/EBITDA倍率の目標は5.4倍とコロナ前の水準（19/3期5.6倍）が掲げられている。こうした財務規律から見れば、当面も現状の良好な財務基盤が損なわれる懸念は小さい。

（担当）加藤 直樹・外窪 祐作

■格付対象

発行体：京成電鉄株式会社

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A+	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第51回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2018年9月7日	2028年9月7日	0.395%	A+
第52回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2018年9月7日	2038年9月7日	0.833%	A+

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2023年4月13日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也
主任格付アナリスト：加藤 直樹
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2014年11月7日）、「鉄道」（2020年5月29日）として掲載している。
5. 格付関係者：
（発行体・債務者等） 京成電鉄株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っており、JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル